



自筆証書遺言の要式が緩和
されました!

この機会に、あなたにふさわ
しい遺言を作成しませんか

人生100年 あなたに寄り添う 行政書士

「遺言作成」支援は 「行政書士」に お任せください

遺言はあなたの想いを遺すもの、あなたの人生を結ぶ言葉であり、その想いを希望通りに叶えることが目的です

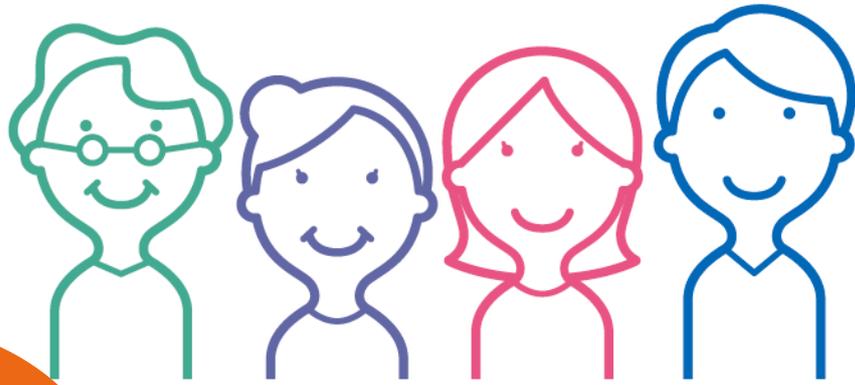
行政書士は、その目的をしっかりと形にするため、自筆証書遺言や公正証書遺言など、いろいろな遺言から、あなたのご要望をお聞きし、あなたにふさわしい遺言を遺すお手伝いをさせていただきますので、安心して**行政書士**にお任せください

ご相談・お問い合わせは

今までは全てを自書しなければ有効にならなかった**自筆証書遺言**のうち、あなたの財産についての記載は、パソコン等での作成が可能になりました。

また、銀行の通帳のコピー・不動産の登記事項証明書を財産目録として添付が出来ます。(その場合、全てのページにあなたの署名と捺印が必要です。)

自筆証書遺言では**遺言を作成した日付、あなたの署名と捺印**この3つがないと、せっかく時間をかけて作成した自筆証書遺言が無効になってしまいますので注意が必要です。



行政書士に
聞いてみて!



相続手続きに

「法定相続情報証明制度」

を使ってみませんか

相続手続きをする際には、お亡くなりになった人自身の戸籍や、法定相続人(法律で定められている相続人)についての戸籍を揃えなければなりません。

法定相続人が多くなると、揃える戸籍も増えてしまいますので、相続の登記はもちろん、相続手続する金融機関にも揃えた戸籍全てを持参しなければなりません

でも、この「法定相続情報証明制度」によって、「法定相続情報一覧図の写し」があれば、戸籍を持参しなくても、確定した法定相続人を確認することが出来ます。この「写し」はA4サイズで、大抵の場合は1枚で済みます。

詳しくはお近くの**行政書士**にお気軽にお尋ねください!

お役に立ちます! あなたの街であなたのために 行政書士